

地歴 問

地理歴史等

平成 31 年度 (前期日程)

注 意 事 項

- 1 「解答はじめ」というまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は 1 冊(本文 21 ページ, 下書用紙 2 枚)で、解答用紙は 1 枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので、引き抜いて使っても構いません。なお、問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。
- 3 すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお、受験番号は、次の要領で明確に記入すること。

(例) 1) 受験番号 50001 番の場合 →

5	0	0	0	1
---	---	---	---	---

- 4 1) 世界史, 2) 日本史, 3) 地理, 4) 倫理, 政治・経済, 5) ビジネス基礎, 以上 5 科目のうちから 1 科目を選んで答えなさい。さらに、選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例) 2) 日本史を選んだ場合 →

					2
--	--	--	--	--	---

- 5 解答は、解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところに書いても無効になることがあります。また、字数などの指示がある場合は、その指示に従って書きなさい。なお、字数制限がある場合、算用数字及びアルファベットに限り、1 マスに 2 文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には 1 マスを使用すること。ただし、例えば「問 1」ならば「1」とのみ書いても構いません。なお、問題番号は問題ごとに指定された解答字数に含めます。

(例) 3)

I の「問 1」の場合 →

I

1		
---	---	---	---	---	---	--	--

I 次の文章は、14世紀半ばに書かれた年代記の一部である。この文章を読んで、
問いに答えなさい。(問1; 問2をあわせて400字以内)

著作権保護の観点から、 公開していません。

問1 10世紀に東ヨーロッパで王国を建てたマジヤール人は、この年代記の中で、自らをフン人と同一視し、フン人の王アッティラを自らの起源として位置付けることで、新興勢力である自分たちの由緒を美化した。このマジヤール人が建てた王国を含め、カトリックに改宗してこの時期に国家形成した東ヨーロッパの王国を3つ答えなさい。

問2 上に引用した年代記の記述では、アッティラは、人々の意思で王となったことになっている。一堂に会した人々(有力者たち)が自らの指導者を選ぶというこの内容は、マジヤール人の年代記では『彩色年代記』に先立ち13世紀後半から14世紀にかけて現れた。このことは、西ヨーロッパをはじめとしてヨーロッパ各地で、まさにこの時期に、君主と諸身分が合議して国を統治する仕組みができたことを反映している。この仕組みとは何か、複数の具体的な事例を挙げ、中世から近代にかけての変化を視野に入れて説明しなさい。

Ⅱ 第二次百年戦争とも呼ばれるイギリスとフランスとの争いについて，両国の対立の背景および1763年に至るまでの戦いの経緯を説明し，この争いの結末がその後，世界史にどのような影響を及ぼしたかを述べなさい。(400字以内)

- Ⅲ 1960年代後半に書かれた以下の文章を読み、下の問いに答えなさい。(問1, 問2をあわせて400字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

(蒋経国『わが父を語る』より引用。但し、一部改変)

問1 ①に入る語句を記しなさい。

問2 ここで対立する両勢力の関係と1949年に至るその変遷についてまとめなさい。

日 本 史

I 次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(問1から問4まですべてで400字以内)

前近代日本の産業の歴史を俯瞰してみよう。前近代日本の最も重要な産業は農業であり、鎌倉時代に作成された土地台帳である (a) をみると、院政期から鎌倉時代までの土地制度の移りかわりと土地経済の支配の様子が伝わってくる。その後、制度の変更を伴いながら、農業は前近代日本の基幹産業の役割を果たしていった。

一方で、農業以外の日本の産業の発展を考えると、律令税制の (b) や中世の年貢としても課されたその土地の特産物の生産が重要になる。地域によっては、中世の頃に特産物となったものが、江戸時代になると農家の副業などにより特産品として定着し、19世紀に幕府が主導した (d) では、各藩の専売制の対象となった物産もあった。その多くは明治の統計で特有物産として把握された。

問1 (a)に最も適切な語句を記入しなさい。また、(a)の作成目的を含め、下記の『小右記』の記述をふまえ、鎌倉時代までの土地領有関係の変遷について説明しなさい。

万寿2(1025)年7月11日の条の一部

天下□地悉為一家領，公領無立錐地歟，可悲之世也

*□は欠損・不明を示す。

問2 (b)に最も適切な語句を記入しなさい。

問 3 下線部(c)に関して、下記の ～ に最も適切な語句を記入
しなさい。

室町時代になると、各地の主要な特産品として、加賀・丹後での
 , 越前・土佐での , 備前・美濃での , などが
知られていた。

問 4 (d)に最も適切な語句を記入しなさい。また、(d)に関して、とくに佐賀(肥前)
藩と萩(長州)藩の事情について、それぞれの中心人物をあげながら、説明しな
さい。

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の問いに答えなさい。(問1から問5まですべてで400字以内)

著作権保護の観点から、 公開していません。

(田崎宣義編『近代日本の都市と農村—激動の1910-50年代』より引用。但し、一部改変)

問1 1920～30年代に都市部を中心に教育と文化面での変化を担った社会階層があった。その名称と性格について説明しなさい。

問2 1918年に児童文学雑誌『赤い鳥』が創刊された。この雑誌の読者は問1の社会階層が主であったととらえられているが、この社会階層がもつ教育への関心がこの雑誌の発行部数の伸びを支えた。なぜこの雑誌が受け入れられたのかについて、この雑誌の内容を示しながら説明しなさい。

問3 この時期のマスメディアの動向の一つとして、総合雑誌の発行部数の大きな伸びがある。総合雑誌とはなにか、その役割を含めて説明しなさい。

問4 『中央公論』に対抗する形で創刊された総合雑誌はなにか、その名称をあげなさい。

問5 この時期はマルクス主義が知識人に大きな影響を与えた。日本の近代社会の性格をめぐってマルクス主義者のなかで繰り広げられた論争は何と呼ばれているか。また、その内容について説明しなさい。

Ⅲ 次の資料は、1946年1月1日に天皇が発表した詔書である(一部の表記を改めて
いる)。これを読んで下記の問いに答えなさい。(問1から問3まですべてで400字
以内)

茲^{ここ}ニ新年ヲ迎フ。顧ミレバ明治天皇明治ノ初国是トシテ五箇条ノ御誓文ヲ下シ給
ヘリ。曰ク、

一、広ク会議ヲ興シ万機公論ニ決スヘシ

(a)

一、上下心ヲ一ニシテ盛ニ経論ヲ行フヘシ

一、官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメンコトヲ要ス

一、旧来ノ陋^{ろうしゅう}習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クヘシ

一、智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

叡旨^{えいし}公明正大、又何ヲカ加ヘン。朕ハ茲ニ誓ヲ新ニシテ国運ヲ開カント欲ス。

須^{すべか}ラク此ノ御趣旨ニ則リ、旧来ノ陋習ヲ去リ、民意^{ちようたつ}ヲ暢達シ、官民挙ゲテ平和
主義ニ徹シ、教養豊カニ文化ヲ築キ、以テ民生ノ向上ヲ図リ、新日本ヲ建設スベ
シ。(中略)

然レドモ朕ハ爾^{なんじら}等国民ト共ニ在リ、常ニ利害ヲ同ジウシ休戚^{きゅうせき}ヲ分タント欲ス。

朕ト爾等国民トノ間^{ちゆうたい}ノ紐帯ハ、終始相互ノ信頼ト敬愛トニ依リテ結バレ、単ナ
(b) ル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ現御神トシ、且日本国民
ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架
空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。(後略)

(注) 休戚：喜びと悲しみ。

問 1 下線部(a)の方針にもかかわらず、その後創設された議会制度は、国民の政治参加や衆議院の権限を限定的にしか認めなかった。それはどのような限定であったのか、またそうした限定を取り払うために、第二次大戦後に議会制度がどのように変革されたのかについて説明しなさい。

問 2 この詔書の発表に先立って実施された「人権指令」と呼ばれる GHQ の施策について、当時の日本政府の対応も含めて説明しなさい。

問 3 下線部(b)の中で、なぜ「架空ナル観念」を否定しているのか。その理由について簡潔に説明しなさい。

地 理

I 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

表 I—1 は、アジア、アフリカ、中南米の主な国で第二次世界大戦後に実施された首都の移転を示したものである。新首都の建設による首都の移転は、都市建設、都市計画の一種であり、従来の事例では中央政府(連邦政府)の官庁や国会、最高裁判所などの国家機能、すなわち広い意味での行政機能を新首都に移転することが多かった。その意図は、都市計画による新首都建設で都市の理想を実現するとともに⁽¹⁾、新首都と旧首都の都市機能の分担を図り、もって旧首都の都市問題を解決することであった。多くの場合、首都移転は、都市計画や都市開発だけでなく、国土開⁽²⁾発全体への効果を意図して計画された。また新都市の建設と移転には多額の費用と長期の期間を要するので、強力な政治体制と経済成長の時期に実施されることが多かった。ブラジルの新首都ブラジリアは平原に作られた計画都市で行政区と住宅区から構成され、その建設は主に 1960 年代の輸入代替工業化による経済成長の時期に行われた。産油国のナイジェリアでは、オイル・ブームで経済、財政が拡大した 1970 年代半ばに首都移転計画が発表され、1991 年に移転した。

表 I—1 には含まれていないが、エジプトでは現首都カイロの東約 50 km の地点に新首都を建設することが 2015 年に発表された。この計画はカイロの都市問題解決を目的としているが、従来の事例とは異なる新しい要素も認められる。新首都には行政機能以外の都市機能も持たせる計画で、新首都予定地は、遠く離れた内陸部ではなく、現首都カイロの東側に広がる新郊外地区「ニュー・カイロ・シティ」を⁽³⁾越えて、さらに東へ行き、スエズ運河に至る途上にある。スエズ運河は 2015 年に改修、拡張工事が完成し(第 2 スエズ運河とも呼ばれる)、運河沿岸に経済特区が設定された。

問 1 首都移転の計画は、下線部(1)のような意図を持っていた。しかし新首都への行政機能の移転によっても旧首都の都市問題は解決されていない場合が多い。それはどうしてか、旧首都ではどのような都市問題が生じていたかを含めて、説明しなさい。また計画的に建設された新首都ではどのような想定外の問題に直面したか、説明しなさい。(150字以内)

問 2 表 I—1 に掲げた諸国における新首都と旧首都の地理的關係については、旧首都が沿海地域に、新首都が内陸部にあるという共通した特徴がある。なぜ、このような特徴が生じたのか、下線部(2)の「国土開発全体への効果」の観点から説明しなさい。ただし、海岸部の都市は軍事侵攻を受けやすいといった軍事的な理由および津波や台風・サイクロンの高波・高潮の被害を受けやすいという防災上の理由は除くものとする。(125字以内)

問 3 エジプトで計画中の新首都は他国の過去の例と異なり、内陸の国土の中心部ではなく、下線部(3)に示したような場所に建設中である。このような立地を選んだ理由は何であると考えられるか。新首都建設資金調達の方法と、計画されている新首都の都市機能を推測して、説明しなさい。(125字以内)

表 I—1 アジア、アフリカ、中南米の主な国で第二次世界大戦後に実施された首都の移転(移転を完了していない国を含む)

年	国名	旧首都	新首都
1956	ブラジル	リオデジャネイロ	ブラジリア
1959	パキスタン	カラチ	イスラマバード
1973	タンザニア	ダルエスサラーム	ドドマ
1976	ナイジェリア	ラゴス	アブジャ
1983	コートジボワール	アビジャン	ヤムスクロ
2006	ミャンマー	ヤンゴン	ネーピードー

注：年は新首都計画が発表された年、あるいは首都と決定された年。国名は、正式名称ではなく略称を掲載している。

II 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

ソビエト社会主義共和国連邦(ソ連)の崩壊後、市場経済への移行にともない、ロシア連邦の経済は1998年まで、一時期を除いてマイナス成長を続けた。とくに、ソ連時代に生産性の低いまま国が補助してきた畜産業は、補助の撤廃によって畜産物の価格が上昇したため、人々の消費需要が縮小して大幅な減産を経験した。そして、ウラル山脈から西のヨーロッパロシアと呼ばれる地域のなかでも、北部の混合農業地域では、飼料用の穀物生産も減り、耕地が放棄され、その森林化が進んだ。

他方、ヨーロッパロシアの南部では、穀物生産は大きく減らなかった。この地域⁽¹⁾では、耕作放棄地が森林とならず耕地としての再利用が容易なこと、また、もともと穀物生産を支える条件を備えていることが、農業の著しい衰退を抑えた。そして、企業家や有力者が大農場を経営し、穀物生産の中心となっている。なかには、中央アジア諸国から訪れる人々を雇うことによって、労働力を補っている例もあ⁽²⁾る。

その後、図II-1が示すように、ロシア連邦の畜産業とそれを取り巻く状況は変化した。この変化に、同国が食料をめぐる政策的課題⁽³⁾に対処する試みと自由貿易とのせめぎ合いをみることができる。同国は一部関税の引き上げなどによってこの課題に取り組んできたが、2012年に同国が世界貿易機関(WTO)に加盟したのちにも、食品安全性を理由とする規制を行った。また、2014年のいわゆるウクライナ⁽⁴⁾危機後に同国がとった貿易政策も、畜産業に影響を与える一因となった。

問1 下線部(1)について、耕作放棄地の森林化を妨げる自然条件と、穀物生産を支える自然条件を、北部と比べながら説明しなさい。(100字以内)

問2 下線部(2)に関連して、アラル海の南岸から南東方向に広がる乾燥地域を占める国の名前を記したうえで、その国が移民を送り出す一因としてどのような経済的特徴をもっているかを説明しなさい。(100字以内)

問 3 下線部(3)にある政策的課題とはどのような課題か、図Ⅱ—1 が示す 2005 年頃までの推移を表現しながら説明しなさい。その際、畜産物の名称等については、図の凡例にある丸番号(①, ②, ③, ④)をすべて用いて答えること。(100 字以内)

問 4 下線部(4)にある貿易政策とはどのような政策をさし、それが畜産業にどのような影響を与えたか、図Ⅱ—1 が示す 2005 年頃以降の推移を表現しながら説明しなさい。その際、畜産物の名称等については、図の凡例にある丸番号(①, ②, ③, ④)をすべて用いて答えること。(100 字以内)

図Ⅱ—1：ロシア連邦における畜産部門の推移

**著作権保護の観点から、
公開していません。**

注：ミルクとは、牛乳と羊・山羊などの乳を合計したものである。

出所：FAOSTAT

Ⅲ ある日本のアパレルメーカーは東南アジアに新しく縫製工場を建設する計画を立てている。以下は、立地案を担当している同社のある新入社員とその上司の会話である。読んで、以下の問いに答えなさい。

社員 「検討中の立地都市の資料ができたので確認していただけますか？」

上司 「ああ、来週の会議の資料だね。」

社員 「はい、表Ⅲ－1をご覧ください。この資料はASEAN 各国主要都市の賃金水準を示しています。」

上司 「特にワーカーの労賃が低いことはうちにとって重要だからね。」

社員 「この中で一番低い都市はD国の(d)ですが、どうでしょうか？」

上司 「(d)は港が遠いのが難点だな。電力は安定して供給されていてA国にも輸出しているくらいだが。⁽¹⁾」

社員 「それではC国の(c)はどうでしょう。C国は2011年以降投資環境が改善しているようですが、まだワーカーの賃金はそれほど高くありません。⁽²⁾」

上司 「なるほどいいかもしれないね。その他の国はどうだろう。」

社員 「A国やB国は進出している日本企業が多いようです。」

上司 「A国の(a)周辺の産業クラスターは有名だよね。だがワーカーの賃金が高いのは難点だな。⁽³⁾」

社員 「そうですね。」

上司 「もちろん総合的に判断することは必要だけどね。一応これらの都市について他の立地条件についても調べてみてよ。」

社員 「他の条件とは、えー例えばどういったことでしょうか。」

上司 「あのね、単純に労賃が低ければいいってものじゃないんだよ。最近はどうみても多国籍企業も社会的責任を問われたりするでしょう。バングラデシュでも2013年に縫製工場が崩壊して大問題になったしね。現地の法規制とか関連事例の確認も頼むよ。」⁽⁴⁾

社員 「なるほど、わかりました。調べておきます！」

- 問 1 A 国, B 国, C 国, D 国に当てはまる国名を順番に答えなさい。解答用紙の 1 行目に, A 国名, B 国名, のように答えなさい。国名の正式名称が長い場合は簡易的な国名で答えてよい(例, A 中国)。
- 問 2 下線部(1)について, なぜ電力が安定しているのか, 自然条件的な理由をもとに答えなさい。(50 字以内)
- 問 3 下線部(2)について, 2011 年に該当国で起こった政治経済的変化と関連づけて投資環境が改善している理由について説明しなさい。(100 字以内)
- 問 4 下線部(3)について, この都市の輸出加工区・工業団地にて成長した産業クラスター(集積)の主な産業を 3 つ, 表Ⅲ—2 から選んでその番号を答えなさい。番号と番号の間は 1 文字空けること。解答用紙の 8 行目に答えなさい。
- 問 5 下線部(4)に関連して, 多国籍企業が発展途上国に与える様々な正と負の影響について, 多国籍企業の社会的責任として期待されていることを論じなさい。アパレル産業に限らず他の業種に関わる点についても触れること。(200 字以内)

著作権保護の観点から、
公開していません。

出所：JETRO 投資コスト比較

注 i：各国の主要都市を1つ記載した，ブルネイは出所にないため記載していない。賃金水準は2017年12月から2018年2月のJETROの調査に基づく。

注 ii：実務経験3年程度の作業員を指す。

注 iii：専門学校/大卒以上・実務経験5年程度のエンジニアを指す。

注 iv：日当で制定されている国については1ヶ月を24日勤務として計算した額を記載した。また国の中で産業等により異なる場合は，その中から一番低いものを掲載した。シンガポールについては出所にないため記載していない。

表Ⅲ—2 産業分類表

1	食料品製造業	10	非鉄金属製造業
2	繊維工業	11	はん用機械器具製造業
3	木材・木製品製造業	12	金属製品製造業
4	家具・装備品製造業	13	生産用機械器具製造業
5	パルプ・紙・紙加工品製造業	14	電子部品・デバイス・電子回路製造業
6	化学工業	15	業務用機械器具製造業
7	石油製品・石炭製品製造業	16	電気機械器具製造業
8	プラスチック製品製造業	17	情報通信機械器具製造業
9	ゴム製品製造業	18	輸送用機械器具製造業

出所：日本標準産業分類の製造業より一部抜粋。

I 次の文章を読み，下の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、 公開していません。

(徳永恂著『現代思想の断想—「神なき時代」の模索』より引用)

問 1 X は，もう一人の哲学者とともに下線①と同名の著作を著した哲学者の名前である。この著作の著者二人の名前と，彼らを中心に形成された研究者グループの呼称について明記しながら，この二人が理性とナチスの蛮行の関係をどのように理解したのかを説明しなさい。(200 字以内)

問 2 下線②は，X の視点からフロイトの理論について述べたものであるが，フロイトにおける「『自我』や『超自我』による規範的統制」について説明しなさい。その際，文章中で「ペシミズム」(悲観主義)と呼ばれている理由が理解できるように解答しなさい。(200 字以内)

Ⅱ 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

著作権保護の観点から、
公開していません。

(「司法制度改革審議会意見書—21世紀の日本を支える司法制度—」[2001年]から
抜粋)

問 1 下線部①に関連して，大日本帝国憲法のもとでの司法権及び違憲立法審査権について説明しなさい。(150 字以内)

問 2 下線部②に関連して，日本国憲法のもとでの違憲立法審査制度が十分に機能してこなかった「種々の背景事情」と考えられることについて説明しなさい。(250 字以内)

Ⅲ 次の文章を読み、下の問いに答えなさい。

日本では、人口減少と高齢化が同時に進行している。2008年に約1億2千8百万人に達した日本の人口は減少を始め、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2065年には約8千8百万人になると予測されている(2017年「日本の将来推計人口」の出生中位・死亡中位の仮定の下での推計値)。同推計によれば、総人口が減少する一方で、65歳以上の高齢者数は、2042年まで増え続け、65歳以上の高齢者が総人口に占める割合は、2065年には38.4%に達すると予測されている。

それが日本社会にもたらす懸念の一つは、年金、医療、介護、生活保護などの社会保障制度の持続可能性の問題、つまり、政府が現在と同等の社会保障の水準を維持できなくなる可能性があるという問題である。

問1 社会保障のための給付は、日本政府が1973年を福祉元年と位置づけて社会保障制度を拡充して以来、急速に増加してきた。日本政府が1973年に福祉元年を掲げ、社会保障制度を拡充させた背景及び理由を説明しなさい。(200字以内)

問2 人口減少と高齢化が、日本の社会保障制度の持続可能性を脅かすと言われるのはなぜか。日本の社会保障制度の特徴、そして人口減少と高齢化が日本経済に及ぼす影響について言及しながら、説明しなさい。(200字以内)

ビジネス基礎

I 表1は、製造業の労働生産性(就業者1人あたりの付加価値)の推移についての国際比較に関するデータに基づいて作成されたものです。以下の問に答えなさい。

問1 表1から読み取れる特徴を述べなさい。(100字以内)

問2 日本の製造業の労働生産性水準の国際的位置を向上させるために何が必要かあなたの考えを述べなさい。(300字以内)

表1 製造業の労働生産性水準上位15カ国の変遷

著作権保護の観点から、
公開していません。

(出典) 公益財団法人 日本生産性本部「労働生産性の国際比較 2017年版」

Ⅱ 企業が電子商取引を行う上での課題について、あなたの考えを述べなさい。

(400字以内)

Ⅲ 環境保全のための二酸化炭素の削減は、化石燃料による火力発電等から、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギー利用発電、あるいは原子力発電などへの転換によって進めることが可能であるが、そうした取り組みには限界もある。この限界を説明し、その解決策についてあなたの考えを述べなさい。(400字以内)